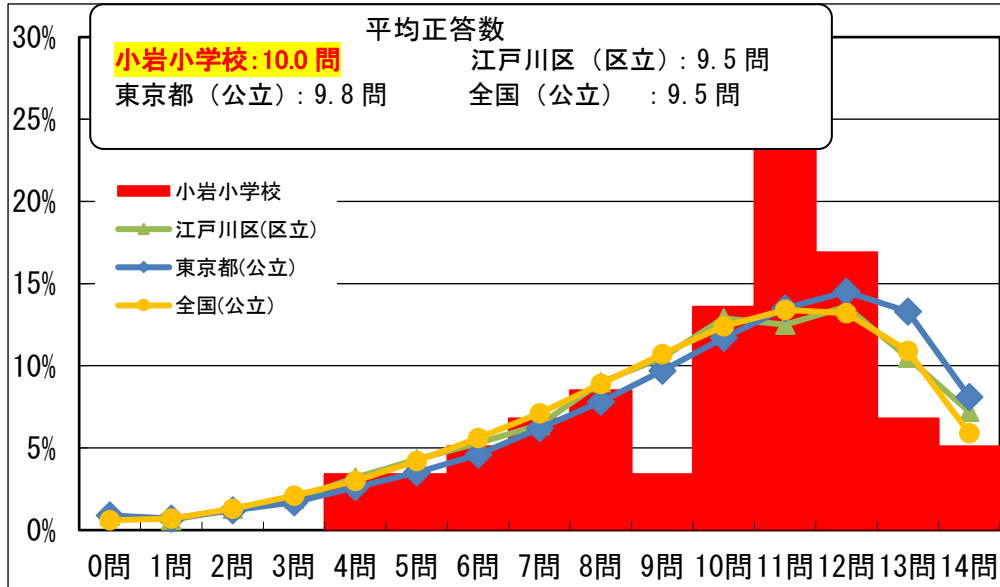


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】小岩小学校

正答数分布



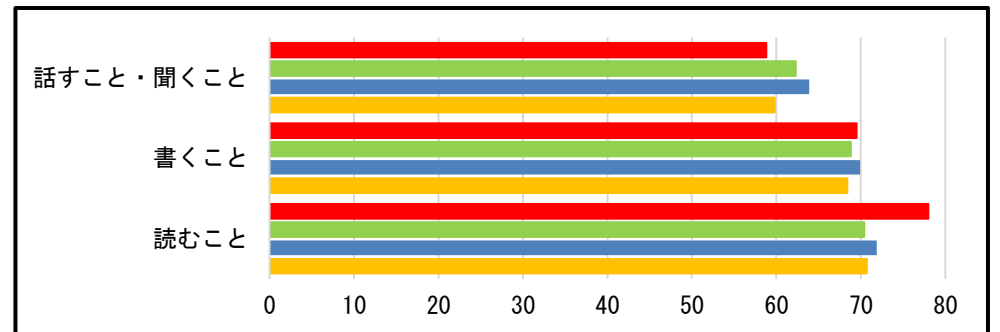
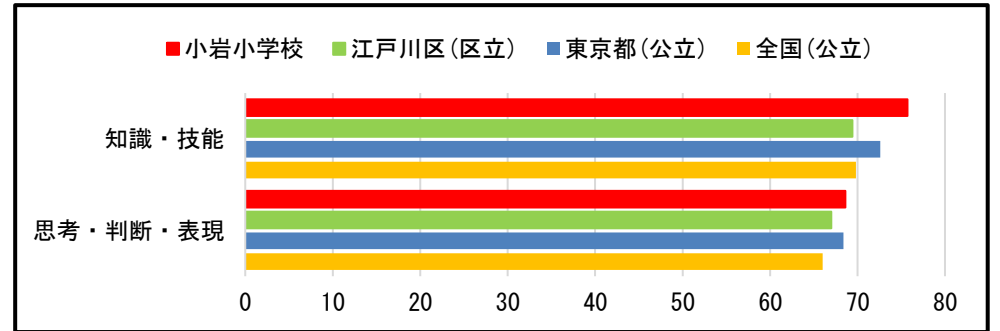
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14 問	B層 10~11 問	C層 8~9 問	D層 0~7 問
小岩小学校	28.8	40.7	11.9	18.7
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

小岩小学校	72%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	+2ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

<分析>平均正答率72%は、都より2%、区より4%上回っている。AB層約70%は、都より約9%、区より約13%上回り、特にB層が多い。「読むこと」約78%は、都や区より特に高く、「書くこと」は都とほぼ同じ、「話すこと・聞くこと」がやや低い。
 <授業改善>基礎基本を身に付ける指導、問題解決的な学習に基づく指導を継続する。情報と情報との関連付けの仕方や、図などによる語句と語句との関係を理解し使うことができる力を育てていく。目的や相手意識を明確にして集めた内容を分類したり関連付けたりしてまとめる学習を増やすと共に、児童同士の学び合いの中で、自分の考えが伝わるよう表現を工夫する力を養っていく。